ブックカフェで交流促進

街道・旅テーマに1万冊

品川区の旧東海道沿いの北品川商店街協同組合（保川泉理事長）に、このほど旅や街道をコンセプトとした「街道 ブックス&カフェ」が登場した。2フロアの壁一面に設えられた本棚には、全国の街道や旅関連の書籍1万冊がぎっしり。本を片手にコーヒーと地元店のスイーツを楽しみつつ、周辺の観光スポットを調べたり客同士で交流したり、次の行き先を計画したり。旅好きが集まる〝街道アンテナ・カフェ〟は、商店街の広域集客にも寄与しそうだ。

オープニングを記念して、保川理事長（右）と㈱しながわ街づくり計画の佐藤代表が、それぞれのお勧め本の〝本入れセレモニー〟

月替わりで地方都市の出展も

北品川商協組

8月6日のオープニングセレモニーでは、カフェの立ち上げに携わった地元商店街をはじめ区商連、全国各地の自治体関係者、事業者などが多数お祝いに駆けつけた。主催者あいさつでは保川理事長が、「観光客と地元客が気軽に訪れて交流できる場になってほしい」との期待を表明。また同企画を支援してきた旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会の堀江新三会長（青物横丁商店街理事長）は「街道歩きを楽しむ人の〝メッカ〟となるよう、皆で応援していきたい」とのエールを送った。

今回の空き店舗活用事業は、約2年前に閉店した金物店跡の1・2階部分約100平方㍍を改装したもの。地元商店街支援で実績のある㈱しながわ街づくり計画（佐藤亮太代表取締役）が企画・運営している。営業時間は午前10時～午後6時）で月曜休業。都のチャレンジマート事業の指定を受けて、都と区が改装費および3カ年度の家賃を助成していく。

同カフェでは、まず1階手前部分を企画展示コーナーとして、月替わりで全国各地の自治体による情報発信スペースとして提供している。8月には長野県飯田市が統一テーマとなり、同市関連書籍や写真、地場工芸品などを展示販売。9月には岡山県倉敷市、10月には新潟県十日町市がそれぞれ月間統一テーマとなり、各自治体の協力を得て、地元の郷土史本や旅行ガイド、旅行記などの書籍を中心に物産・観光も含めた情報発信の場として活用する。

これに合わせて1階奥のキッチン・カウンターでは、8月には信濃産「アップルビール」を提供するなど各出展自治体にちなんだドリンクも用意。常駐のバリスタが、各地元コーヒーショップとも提携して本格コーヒーを提供するほか、通常メニューでは地元にちなんだ「品川縣ビール」や地元店によるオリジナル焼き菓子「しながわ白レンガ」も提供している。

本棚に囲まれた店奥の階段を昇った2階には、壁一面が本棚の約20名収容のテーブル席を備える。レンタルスペースとしての貸し出しも行っており、オープニング初日には飯田市主催のイベント会場としてグルメや観光の魅力を広く発信したほか、8月23日には、区商店街連合会主催「木の教室」の会場としても利用されている。

同カフェ内の書籍は、地元古書店「街道文庫」の協力により、同店所蔵の全国各地の街道や歴史・文化関連書籍約1万冊を展示して、貸し出しおよび販売も行っている。また店内の本棚は区の「ふるさと交流協定」先である山梨県早川町の「やまなし水源地ブランド推進協議会」が間伐材等を、2階テーブルは、長野県飯田市が神代ヒノキを素材提供。加えて、店内の床や壁に利用されている白色レンガ1000枚は、明治時代に全国で始めて耐火レンガを製造した区内事業社にルーツを持つ、品川リフラクトリーズ㈱の無償提供を受けている。

商店街で〝生活防災〟

日常品での備え呼びかけ

下高井戸（振）

各店頭では生活防災ハンドブックの配布や統一の「推奨商品」POP（中央下）でPR

9月1日の防災の日、世田谷区の下高井戸商店街振興組合（旦尾衛理事長）には『生活防災』を呼びかけるフラッグが通りに連なる。これは〝日常〟の暮らしを支える商店街として、地震発生時など〝非日常〟の備えにも役立つ防災グッズを、日頃から提案・提供しようと、2年前にスタートさせた取り組みだ。今年春には『しもたか商店街 生活防災ハンドブック』（A5版フルカラー、22㌻）を編集・発行して店頭配布している。

同冊子の編集内容で商店街ならではの特徴と言えるのが、基本的な災害時の対応ノウハウ・知識に加えて、いわゆる〝防災専用グッズ〟に頼るのではなく、日常的に利用している食品・グッズを応用したユニークな災害時対応事例を豊富に盛り込んでいる点だ。

「非常時に使いやすい食品」特集では、「火や水を使わなくても食べられるもの」「栄養バランスを整えるもの」「災害時におすすめの飲み物」などを、店頭に日頃並んでいる食材を中心に紹介。災害時に「ひとつのアイテムで多様に使えるグッズ紹介」特集では、包帯や毛布としても使える「さらし」、粉塵から目を保護する「ゴーグル」、食器に巻けば汚れを防いで節水できる「ラップ」、レインコートや給水袋にもなる「大型ビニール袋」などを紹介。このほか、「女性向け」「応急補修・掃除」など約20テーマごとの特集により、グッズや食品などの利活用を提案している。

さらに各紹介欄では商品自体の紹介に止まらず、当該商品を購入できる店舗を業種ごとに色分けして明示。同冊子なかほどの商店街マップで、各店に割り振られた色を照合すれば、店舗を簡単に参照できるという仕掛けだ。

冊子で紹介した食品・グッズの購入を後押ししようと、昨年11月20日～12月5日には「生活防災フェア」も開催した。期間中には各店ごとの対象商品に、商店街統一の「生活防災推奨商品」POPを掲げてPR。期間中に対象商品を購入した方には「抽選補助券」を、趣旨に賛同する飲食・サービス店で消費した方には「タイアップ券」を進呈して、補助券1枚以上を含む3枚で参加できる抽選企画も提供。これにより、物販だけでなく飲食・サービス業店の参加も可能となり、また個店の販促面と地域防災力向上面の相乗効果も期待されている。

今回の冊子作成やフェア実施にあたって商店街では、防災専門家等の監修や協力支援も得ながら、店主向けの生活防災関連セミナーや、各店舗を回っての推奨商品の選考支援、さらに地元買い物客向けの啓発フォーラムなども実施してきた。生活防災フェアについては今年度も開催を予定しており、今後も商店街事業として地道に店舗や市民に呼びかけていく。

緑化でエコや景観にも効果

8月前半を中心に、連日の真夏日となった今年の東京の夏。そんな猛暑を商機につなげようと、都内各地でユニークな地球環境配慮型の販促企画が続々と登場している。商店街での打ち水やミスト散布をはじめ、商店街緑化による木陰スポットづくり、休憩所での冷水提供、浴衣での来街促進など。五感に訴える〝クール〟な創意工夫で、快適な買い物空間づくりや個店の販促、さらには地球環境配慮活動にも寄与しようとの取り組みを追った。

検証 活性化へのニューウェーブ

みちびき花の辻商店街の打ち水では、事前・事後で体感温度にして7～8℃ダウンの効果に

台東区のみちびき花の辻商店街（振）では、今年も8月の週末各3回にわたって「みちびきまつり」を開催した。猛暑となった初日の8月2日には、商店街沿いの浅草見番とお休み処前で打ち水を実施して、実施前測定で53℃だった路面温度を38℃までクールダウン（左写真参照）。お休み処前ではミスト散布も行っている。

同商店街では7年前から通り沿いの緑化も推進しており、各店頭への藤棚設置、墨色プランターの配置、植物をあしらった〝緑の屋台〟の開発、休憩所整備などを実施。こうした活動が評価されて、5年前に「緑の環境デザイン賞」で国土交通大臣賞も受賞している。

◇　◇

浴衣で来街に特典

10年ほど前から「きたまち打ち水大作戦」を展開してきた練馬区のニュー北町商店街（振）、きたまち商店街（振）、北一商店街（振）の3商店街エリアでは、今年も7月23日～8月23日を打ち水期間として設定した。地域ぐるみの一斉打ち水の機会として8月22日には、地元商店街認定の「北町名人」でもある落語家・柳家小きん氏を招いての「北町寄席　落語教室」も開催。教室終了後には集まった親子連れが商店街通り沿いに並んで、打ち水音頭が流れるなかで打ち水を実施した。

同エリアでは打ち水運動が店に浸透してきたこともあり、今回は一斉ではなく各店頭の判断にて随時実施する方式へと刷新。買い物客らが自由に利用できる〝打ち水セット〟を店頭常備する店も出てくるなど、スタートから10年を経て、店から地域へと打ち水運動は着実に広がりをみせていると言えそうだ。

◇　◇

快適な買い物街へあの手この手

涼と客呼ぶクールな演出

多摩市では約100店舗が協賛して「クールシェアパスポート」の提示により各店頭で特典提供

一方で、ビジュアル効果で〝涼〟を演出しようというのが、中央区の銀座通連合会主催の「ゆかたで銀ぶら2015」。今年も8月2日限定で浴衣での来街者への各種特典を提示して、イベント実施を広く呼びかけ。イベント当日は銀座通り沿い2カ所に「無料着付け処」も開設して、各店それぞれに浴衣客向けのお得なランチ・メニュー等を設定したほか、商店街でも浴衣での来場者限定企画として風鈴絵付け体験や写真撮影サービス、抽選会などを提供。終日浴衣姿のカップルや親子連れが多数行き交って、通りを涼しげに演出している。

個店の販促を絡めたユニークな取り組みとして注目されるのが、多摩市の「クールシェア特典協賛店」制度だ。同市のクールシェア事業の一環として8月1日～31日に、店内の室内温度を原則28℃に空調設定したクールシェア協賛店において、お得な特典を受けられる「クールシェアパスポート」を市内全戸へ約7万部発行している。

今年も約100店舗が協賛店となり、店頭でパスポートを提示した方に、「単品ソフトドリンク50円引きサービス」「店内で飲食された方にしそドリンクサービス」などの特典をそれぞれに提供。今年で2回目と市民にも浸透したことで、協賛店舗数や参加者数ともに大幅増となっている。

書籍紹介

『商店街はいま必要なのか』

「日本型流通」の近現代史

満薗　勇【著】

「商店街はなぜ発展したのか?」を探ることで、今後の方向性を見出そうとの歴史学者による著書。都振連の2012年度調査・研究事業『商店街がなくなるとどうなるのか?』の報告結果も参照しながら、「商店街の存続を強く願いつつも消費者としてモノを買う立場から商店街を選ばない」と課題設定する。

行商人が店を構えることで「まち」との関係を緊密にしていった歴史や、百貨店、通信販売、スーパー、コンビニなど日本型流通形態の分析を通じて、「まちづくりが商業機能と結びつかなければ、商店街の形にこだわる理由は見出せない」と指摘。「消費」面だけでなく小売現場の「労働」者、店を構える「地域」――の3つを結んだ「生活」の視点でこそ、「商店街はいま必要なのか」を問うべきだとする。講談社現代新書刊、840円（税別）。

情報BOX

※以下は本紙過去再掲分を含みます。詳しくはそれぞれの問合せ先まで

調査・企画支援

■トータルプラン作成支援事業で応募受付中

商店街活性化のためのビジョンづくりや中長期的な事業計画づくりを総合的に支援する事業。

（1）ビジョンづくりコース　活性化のためにビジョンの作成を考えている商店街に対し、ビジョンづくりのノウハウを提供。

（2）調査コース　商店街自らが調査・集計するためのノウハウを提供。

（3）プランづくりコース　商店街の活性化に向けた中長期的な（3年程度）プランづくりを支援。

（4）認定支援コース　地域商店街活性化法を活用した商店街の活性化事業を検討している商店街に対し、専門家を派遣し、「商店街活性化計画」の作成を支援。

（5）フォローアップ支援コース　既に法認定を受けた商店街に対し、事業計画の変更申請等を支援。

▽募集期間　9月1日（火）～9月15日（火）

▽詳細は（株）全国商店街支援センターHP「トータルプラン作成支援事業」サイト（http://www.syouten-gi-shien.com/support/14.html）まで

個店・人材育成

■繁盛店づくり支援事業で応募受付中

繁盛店づくりを促進し、それを商店街全体に波及させる仕組みづくりを支援。

（1）入門編＝（2）実践編への足がかりとして、実践編の研修内容を1日で体験する「1日体験コース」、2時間のセミナーで繁盛店づくりを学ぶ「事例研究コース」を展示して、貸し出しおよび販売も行っている。

（2）実践編（実践コース）＝数カ月間にわたり専門家の指導のもと、臨店研修・参加店会議・全体研修・通信指導を実施。人材の育成もめざす。

（3）検証編＝（2）実践編を終了した商店街を対象に、事前に追跡調査や自主性を促すプログラムを実施したうえで臨店研修・全体研修を1日で行い、前回研修後の継続的取り組み状況や効果等を検証。

▽募集期間　9月1日（火）～9月15日（火）

▽詳細は（株）全国商店街支援センターHP「繁盛店づくり支援事業」サイト（http://www.syouten-gi-shien.com/support/08.html）まで

多言語対応支援

■多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT東京」開設中【東京都】

東京都では、グローバル都市「東京の食」を外国人観光客のみなさまに楽しんでいただくことを目的に、外国語のメニューの作成を支援するウェブサイトを開設している。この「EAT東京」は、無料かつ簡単にお店の外国語メニューを作成できるもので、作成した店舗情報&メニューは、東京都公式の『「外国語メニュー」がある飲食店検索サイト』に無料で掲載してもらえる。

サービスの特徴および手順等は以下の通り。

・店名と電話番号を入力するだけで登録完了

・豊富なデザインとレイアウトを組み合わせてメニューを作成

・翻訳言語は12種類

・登録した店舗情報や料理メニューの情報は、東京都公式の外国人旅行者向け飲食店検索サイトで無料にて閲覧可能

▽詳細は多言語メニュー作成支援ウェブサイト（http://www.menu-tokyo.jp/menu）まで

▽操作に関するお問い合わせは、ヘルプデスク（☎050・5865・1313）まで

専門家チームが商店街の活性化やお店の経営改善をお手伝いします！

商店街パワーアップ作戦
(専門家チームの派遣) のご案内

こんなお悩みありませんか
●個店の売り上げに悩んでいる
●商店街でのイベントがマンネリ化している
●ITを活用したいがどうしていいかわからない

東京都内の商店街・商店に対し、実務に明るい専門家が
実践的・具体的にアドバイスします。しかも！費用は無料です。

パワーアップ作戦の流れ
商店街
組合・任意団体
商　店
①お申込み
②事前打合わせ
③日程調整・専門家チームの編成
④専門家チームによる支援の実施

お申込み・問い合わせは下記まで
(公財)東京都中小企業振興公社　新事業創出課
TEL:03－5822－7237
FAX:03－5822－7238
E-mail:shonin@tokyo-kosha.or.jp

公益財団法人 東京都中小企業振興公社　東京都産業労働局
※商店街パワーアップ作戦は東京都から委託を受け、(公財)東京都中小企業振興公社が実施しています